

西東京市男女平等推進センター「パリテ」登録団体紹介

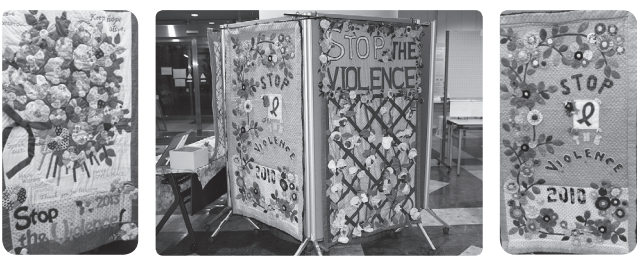
～女性へのあらゆる暴力にNO!～ 「西東京市 パープルリボン・プロジェクトをすすめる会」



パープルリボン・プロジェクトとは

女性へのあらゆる暴力に対する反対の意思を、パープルのリボンに込めて、身につけたり、手作りの作品に仕上げるなど、だれでも身近なところから取り組むことのできる運動です。1994年アメリカ合衆国ハンブシャー州の小さな町のDV被害者や医師、カウンセラー等によって立ちあげられ、国際的な草の根運動へと広がっています。

女性へのあらゆる暴力に反対の意思を込めた、パープルリボンタペストリーづくりにご参加ください。



西東京市パープルリボン・プロジェクトをすすめる会の活動

- ◆2008年、男女平等推進センターパリテの開館と同時に、パープルリボン・プロジェクトの趣旨に賛同し、活動をスタートさせました。
- ◆まず、パリテ企画運営委員や市民の有志でタペストリーづくりを始めたのち、2011年に市民団体として「パープルリボン・プロジェクトをすすめる会」を結成。パリテの登録団体になりました。
- ◆男女平等推進センターとの協働で毎年、市民の皆さまに、女性への暴力に反対する意思を込めたパープルリボン作品づくりへの参加を呼びかけ、寄せられた作品を「すすめる会」のメンバーが、パープルリボンタペストリーとして完成させています。
- ◆すべての作品は、「女性への暴力をなくす運動」期間中「パリテまつり」に住吉会館内で展示するほか、公共施設に展示し、また要望に合わせて、他市の女性センター等への貸し出しも行っています。

お問い合わせ
「西東京市 パープルリボン・プロジェクトをすすめる会」
(代表) 齋藤 ☎ 042-467-3173

団体登録

(男女平等推進係)

男女平等参画社会の実現をめざして活動するグループを支援します。団体登録をしていただくと、次のとおり施設をご利用いただけます。

- 活動室** グループ活動や、活動の際の保育室としてご利用いただけます。(無料)
●登録団体は2カ月前(その他の方は1カ月前)から予約申し込みができます。
●利用時間 午前9時～午後10時
- 団体連絡箱** グループで作成したチラシなどを配布できるロッカーです。申請をしていただくと、ご利用いただけます。

Parite

パリテ
2015.9
Vol.15

愛称「パリテ」とは… フランス語で“平等な”という意味です。

- ◆企画・編集◆ 男女平等推進センター企画運営委員会
- ◆発行◆ 西東京市生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
〒202-0005
西東京市住吉町6-15-6 住吉会館内
☎ 042-439-0075
- ◆企画運営委員会委員◆ 加藤真理、齋藤博、齋藤三枝子、白井香澄、田崎吉則、長坂悠、本橋里実、吉田朋子
- ◆制作◆ 株式会社ドゥ・アーバン
- ▶ご意見、ご感想をお寄せください。情報誌「パリテ」は西東京市のホームページからもご覧いただけます。
<http://www.city.nishitokyo.lg.jp>



編集後記

男女平等とは、多岐に渡るものだとつくづく思う。人間の営み全てが関わる問題なのだから当然とはいえ、その膨大な情報をいかに効果的に市民の方々に情報提供できるか、情報誌の編集に携わる者として感うばかり？
事務局

ダイバーシティ「多様性」の推進は、個人がワークとライフのバランスを自主的にマネジメントすることで相乗効果を生む。生き生きとした社会への変革は、まさに男女共同参画社会の目指す方向でもあるのだが。
齋藤三枝子

大沢真知子さんの「女性が活躍するための手引き」。会場でお聞きしましたが、具体的なデータに基づき、非常にわかりやすかったです。男性としても、女性が活躍する環境作りに、これからも貢献したいと思います。
田崎吉則

多くの女性が、育児より仕事への不満を感じて辞めるという事実。子どもが中学生以上の母親の9割以上は働きたいと思っているが、実際はその半数。日本の社会の働き方が画一的であり、独自の課題を抱えるという話が興味深かった。
吉田朋子